



すべての道は、“健康リテラシー”に通ず

～健康長寿社会・生活習慣病予防の行動基盤づくりを目指す
「日本健康マスター検定(健検)」および関連諸活動～

受賞者

一般社団法人日本健康生活推進協会（東京都港区）

取組アクション



背景・概要

「健康長寿社会」「生涯現役社会」の実現に向け、地域・職域・学域における「健康マスター」の輩出・育成を通じ、健康についての低・無関心層への波及的コミットと共に、生活習慣病予防に不可欠な国民全般のリテラシーの底上げを図る。

取組内容

●日本健康マスター検定(健検)

平成29年2月以降、計8回の検定試験を全国44都市で実施。受検者総数約6万人、合格者(健康マスター)のべ数約3.4万人。幅広いターゲットが参加(企業団体受検者が受検者全体の約70%、その他約30%は健保組合、健康関連業務從事者、薬剤師、看護師、栄養士等の関連有資格者、地域のシニア層、健康推進委員、大学生等)。検定テキストはこれまでに6万部発行。

●「健康マスター普及認定講師」制度

計9回の講座を通じ547名の認定講師を育成。職域・地域における健康活動の普及をねらう。

●健康啓発活動 健康マスター会員向けメルマガを月1回、計21回配信。合格した芸能人5名を「健康マスター名誉リーダー」に、実績ある健康マスターから「健康マスター推進リーダー」6名を委嘱し、全国各地で健康啓発活動を展開。

●一般、企業向けセミナー開催 協会記念セミナー2回(参加者約600名)、合格対策講座を50回開催(参加者約1,500名)。

●団体／自治体／企業／健保組合／メディアとの広範な連携

「健康リテラシー向上」を目的に、団体・自治体・企業・健保組合・大学・メディアと個別に後援名義供与。セミナー、キャンペーンなどを連携実施。

●地域の「健康マスター会」活動支援

神奈川、関西の2地域で健康マスター有資格者による自主的活動団体が発足。



↑「健康マスター」の試験会場の様子